

はし もと まさ のり
橋本 真典さん

は、震災前から人々が苦しんでいたことがリスタートしてしまふ。地域全体の復興はまだ道半ばだ。

—— ホールディングス化について

首都圏への進出を念頭に置き、M&Aはあくまでも手法で、提携先との関係を考慮し、障壁を取り除き、対等な意識を持つためのホールディングス化と考える。会社設立や金利面で有利に働くことなど、実利的

でのメリットが大きいので、有効に活用したい。

—— 社員の育成について

5年間で1000人の採用を目標に、新本社屋など、入りたくなる会社、魅力ある会社を目指してきた。入社後14カ月間の研修では、各セクションを体験させ、現場や営業など、障壁を取り除き互いの立場を理解させることで、部下を指揮・管理する立場になった時、力を発揮してくれと期待

している。結果的に離職率の低さにもつながっている。

—— 理想の会社像は

人生は一回きり。「挑戦せずに後悔する」よりも「挑戦し、失敗しても笑って飛ばす」社風を全員が共有し、楽しい会社を目指したい。

趣味はサーフィン。1996年生まれ、焼津市出身在住。

（中部支局・小松和正）

挑戦し、失敗しても笑い飛ばす社風へ

は、震災前から人々が苦しんでいたことがリストार्टで、有効に活用したい。の低きにもつながっている。地域全体の復——社員の育成についてる。

耐震化率95%目指す

25年度までの県耐震改修促進計画案

静岡県は、新たに5カ年を計画期間とする「静岡県耐震改修促進計画（第3期計画）」の策定を進めている。耐震化の現状や課題等を踏まえ、まとめた計画案では基本目標を「耐震性が不十分な住宅、耐震診断義務付け対象建築物（要緊急安全確認大規模建築物）のおおむね解消を目指す」としている。

おおむね解消とは、2025年度末の耐震化率を95%まで進めること。そのため、木造住宅耐震補助助成件数を5カ年で5000戸としている。18年度末の耐震化率は住宅89・3%。大規模建築物は19年度末で90%。

耐震化促進の施策には▽プロジェクト「TOU KAI-10（ゼロ）」助成▽耐震診断補強相談士の活用▽避難路沿道建築物の耐震化などを盛り込み、その他ブロック塀の安全対策、家具転倒防止の促進、防災ベッド等の耐震化以外の「命を守る」対策を促進させる。建て替えや住みの替えなど、各

世帯の事情に応じた幅広
い提案もしていく方針。
耐震改修促進計画は、
「建築物の耐震改修の促
進に関する法律」第5条
の規定に基づき、建築物
の耐震診断と耐震改修を
効果的、かつ効率的に促
進することを目的に策
定。県では、06年10月に
静岡県耐震改修促進計画
の第1期計画（06～15年
度）、16年4月に第2期
計画（16～20年度）を策
定し、住宅・建築物の耐
震化に向けた各種施策に
取り組んできている。

て公示した。定期申請を
31日までの間、全国9カ
所にある同研究所の地域
センターで、持参か郵送
により受け付ける。
申請書は同研究所のホ
ームページ(<https://www.waist.go.jp/>)からタウ
ンロードする。郵送する
場合は簡易書留などで書
類を提出する(31日消印
有効)。
資格の有効期間は21年
4月1日〜23年3月31
日。
定期申請の完了後も随
時、申請を受け付ける。

県知事賞に花村さん(浜松工高)

県建協第40回建設論文募集

静岡県建設業協会（石井源一会長）は19日、第40回建設論文の受賞者を発表した。県知事賞は県立浜松工業高校建築科1年の花村あずきさんが受賞した。その他、優秀賞に3人、佳作に5人、努力賞に10人が選ばれた。表彰は、きょう20日から受賞者が在校する各校で行われる。 論文募集は、人材確保・育成事業の一環として実施しているもの。静岡県、国土交通省中部地方整備局、昭和会、建通新聞社などが後援。『災害に強い街づくり（わたし）の街をこうしたい。』をテーマに募集、応募総数は6校からの262作品だった。	場監督になり、暮らす人のために最善を尽くす」ことを決めた。そして、自分のまち、災害に強いまちと女性の関わり、掲示板による情報共有の重要性を考えた中で、「老若男女問わず快適に過ごせるまちに関わってきたい」とまとめている。 なお、論文募集に積極的に協力した3校に感謝状を贈る。 入賞者は次の通り（敬称略）。
【県知事賞】 ▽花村あずき（県立浜松工業高校建築科1年） 【優秀賞】 ▽相澤亜美▽大谷木乃花▽立石拓翔（全て県立浜松工業高校建築科1年） 【佳作】 ▽入江蛍（県立科学技術高校建築デザイン科1年）▽黒田楓（県立科学技術高校建築デザイン科1年）▽松村武流（県立掛川工業高校環境設備科2年）▽川合泰泉（県立浜	【努力賞】 ▽山元翔斗（県立沼津工業高校建築科2年）▽大石陸駆（県立科学技術高校建築デザイン科1年）▽宮本月湖（県立科学技術高校建築デザイン科1年）▽佐々木雄志（県立科学技術高校建築デザイン科1年）▽園田真子（県立科学技術高校建築デザイン科1年）▽山下温葉（県立科学技術高校建築デザイン科1年）▽向島希流亜（県立科学技術高校建築デザイン科1年）▽岡本悠聖（県立掛川工業高校環境設備科2年）▽三海莉子（県立浜松工業高校建築科3年）▽美和愛未（県立浜松工業高校土木科1年）
【感謝状】 ▽県立沼津工業高校▽県立科学技術高校▽県立浜松工業高校	▽松工業高校土木科1年）▽杉山健悟（県立浜松工業高校建築科1年）

『助け、助けられる掲示板』

1. 将来の夢
私は将来、現場監督になりたいと思っている。小学校4年生の冬に祖父母が私の家の隣に引っ越してきたことがきっかけで建築に興味を持った。そんな時、あるテレビ番組を目にした。女性の働き方についての番組だった。テレビの中では女性が男性と同じ力仕事を必死にしている姿を見た。男性ばかりの職場で女性が必死に働いている姿は、とてもかっこよく、私の憧れの存在となった。その時から私の夢は女性で現場監督になることに決まった。現場監督になり、社会のために、そこに暮らす人々のために最善を尽くす。そして、女性の建築業界での立場を確立したいと思っている。

2. 自分のまちについて
私の暮らす浜松市では今後、南海トラフ巨大地震が起ることを予想されている。南海トラフ巨大地震とは東海地震と東南海地震、南海地震が同時に発生した場合に起こる運動型巨大地震のことです。浜松市では最悪2万3千人を超える死者数が予想されている。

3. 災害に強いまちと女性
東日本大震災を始めとする過去の災害では、避難所などで様々な意思決定過程への女性参画が十分に確保されず、女性のニーズに配慮されないという課題が生じた。防災の現場での女性参画の拡大は、子供や高齢者、障害者、LGBTの方などへの配慮にもつながる。災害に強いまちとは、弱者の声をひろうことができて、助け合える関係を構築した街のことである。

4. 提案
女性や性的マイノリティ、弱者の声をひろうことができるデジタルサイネージを提案する。

デジタルサイネージとは、ディスプレイなどを使ってあらゆる情報を提供する機器や手法で、駅や百貨店、病院などで幅広く使われている。デジタルサイネージには、メディアにコン

タクトを打つことができる。デジタルサイネージは、ネットワークを利用してコンテンツを配信する「ネットワーク型」がある。スタンドアロン型は、パソコンなどで作成した広告のコンテンツをUSBメモリやSDカードに保存し、ディスプレイに差し込んで情報を表示する。ネットワーク型は、ディスプレイをネットワークに接続し、サーバとつなげる構造になっている。このデジタルサイネージを町の自治体掲示板として利用するのだ。

機能としては、日常では、自治体情報や防災情報の掲示、情報交換用の掲示板、お店の宣伝を考え、緊急時には避難経路を表示することなどを想定している。

情報交換用の掲示板では、ネット上で地域の情報を交換する。掲示板に参加している人にはお店の割引券を配布することで参加を促したい。これによって、コロナウイルスが蔓延している今、ソーシャルディスタンスを保ちながらコミュニケーションを取ることが

また、バーコードの設置で得情報や商品の値段を教えあつことや、シングルマザー、シングルファザーの相談に乗って助け合うことができることも考えている。託児所が休みで、仕事が入ってしまった時には近所の助けを求め、子供を預かってもらうことができるのも良いだろう。子供を地域で見守る体制をつくるのだ。

災害時には家族の状態を表示する。例えば、「怪我をした」、「病気を患っている」などを書き込むことで地域住民の現状を知り、もしもの時に共助できると考えられる。また、困っているけれど警察や救急車、消防車を呼ぶ程でもないときにも気軽に助けを呼ぶことができる。そして、警察や救急車、消防車の助けを待つより、地域の人の助けを呼んだ方が近所のため、救助が早く行える。

デジタルサイネージのエネルギーは、日頃は他から電気を繋ぎ、太陽光発電をして電気を貯める。緊急時には自家発電をした電気に

デジタルサイネージのデータは、日頃はネットワーク型を使用する。掲示板のデータを毎日24時にUSBやSDカードなどにアップロードしておき、緊急時にはそのデータをデジタルサイネージに取り込むスタンドアロン型に切り替える。避難経路や防災情報は予め内蔵しておくことで、緊急時にそれを見て、適切な判断ができると考えられる。

5. まとめ
災害に強いまちにするには、単に防災事業を実施するだけでなく、地域住民との連携なども大切である。実際に、阪神・淡路大震災でも、最も多くの被災者でも救ったのは地域の人々であった。町の施設が安全で快適であると同時に、地域の人々が共助できることが災害に強いまちに繋がっていくと考えられる。私は女性の現場監督として、女性や子供、高齢者、障害者、LGBTの方たちの分も、積極的に意見し、老若男女問わず快適に過ごせるまちに関わっていきたい。

工法を全国展開
アサヒエンジ
ニアリング
アサヒエンジンリアリン
グ（浜松市西区、金原秀
明社長）は、地すべり・
液化化対策としての推進
工法である「レジエンド
パイプ工法」の全国展開
を進めている。

同工法は、リターン型
掘進機と集排水パイプの
組み合わせにより、深い



「レジエンドパイプ工法」
推進システム

産業技術
総合研究所 競争参加
産業技術総合研究所
は、2021～22年度の

率の地下水を下げ、地すべりおよび液化現象を抑制する新しい工法。特徴は、掘進機のリターン技術により集排水パイプを効率的に放射状に設置することが可能。専用の集排水管は目詰まりの起きにくい構造で、定期的な高圧洗浄による維持・メンテナンスにより、排水機能の維持が容易。また到達立坑無しで施工が可能で、地下埋設物の多い都市部や住宅地でも経済的かつ迅速な施工が可能。現在、北海道北広島市、厚真町、札幌市で同工法が採用され施工を行っており、今後、熊本市で施工が予定されている。

問い合わせ先はアサヒエンジニアリング 電話 053(485)1000。

申請 31日まで

建設工事と測量・建設コンサルタント等業務の競

製品・工法

レジエンドパイプ
工法を全国展開

アサヒエンジン
ニアリング

アサヒエンジンニアリング（浜松市西区・金原秀明社長）は、地すべり・液状化対策としての推進工法である「レジェンドパイプ工法」の全国展開を進めている。

地すべりおよび液状化現象を抑制する新しい工法。特徴は、掘進機のリターン技術により集排水パイプを効率的に放射状に設置することが可能。専用の集排水管は目詰まりの起きにくい構造で、定期的な高圧洗浄による維持・メンテナンスにより



「レジェンドパイプ工法」推進システム

産業技術
総合研究所 競争参加申請 31日まで

産業技術総合研究所
建設工事と測量・建設コ
ンサルタント等業務の競